

危険物新聞

第257号

発行所 大阪府危険物品協会連合会

発行人 川井清治郎

大阪市西区西長堀北通1丁目

四つ橋ビル8階

TEL (531) 9717.5910

定価 1部 30円

消防設備点検資格者制度発足 資格は消防設備士等の 指定講習終了者

昨年6月の消防法一部改正により、消防用設備等の点検・検査制度が生れたが、このほど設備点検資格者、資格者講習等の告示が発令された。

告示のあらまはは次のとおり

1. 消防設備点検資格者

- (1) 消防設備点検資格とは、当該防火対象物における消防用設備等を、定期的に消防設備士と同様に点検する資格で、一定の受講資格を有する者が指定講習を修了した場合に付与される。
- (2) 指定講習受講資格は、消防設備士、電気工事士、管工事施行管理技士等の資格を有する者、一定の学歴及び実務経験を有する者等に認められる。
- (3) 消防設備点検資格者は、5年ごとに再講習を受けなければならないが、受講しなかった場合は当該資格を失うことになる。

2. 消防設備点検資格者講習

- (1) 講習は、別に告示する指定する実施機関が行うものとし第1種（機械系の消防用設備等）及び第2種（電気系の消防用設備等）の講習実施区分による。
- (2) 講習は、消防用設備等点検制度、消防法規、建築基準法規、火災予防概論、消防用設備等技術基準及び消防用設備等の点検要領の6科目について、合計16時間実施し、講習修了後2時間の修了考査を行う。

3. 点検を行うことができる消防用設備等の種類

- (1) 消防設備士は、その指定区分に応じ、工事又は整備を行うことができる消防用設備等のほか、一定の消防用設備等について点検を行うことができる。
- (2) 第1種消防設備点検資格者は機械系消防用設備等について、第2種消防設備点検資格者は電気系消防用設備等について、それぞれ点検を行うことができる。

大阪府危険物取扱者試験 乙種第4類 丙種 6月29日 近大で

大阪府では昭和50年度第1回危険物取扱者試験を6月29日、近畿大学で実施する。受験準備講習は8頁掲載のとおり。

- ▷試験種類 乙種第4類と丙種
- ▷試験日 6月29日（日）
- ▷試験場所 近畿大学
- ▷願書受付日 6月19日と20日
- ▷受付場所 大阪府職員会館

テキスト代変更お知らせ

受験用テキストのうち、関係法令集代450円は、500円に改訂されましたのでご了承下さい。



**乙種第4類・丙種
危険物取扱者試験
受験特集**

1. 受験資格

乙種第4類……第4類危険物（1品種でもよい）を危険物施設（製造所、屋外タンク貯蔵所、地下タンク貯蔵所、給油取扱所など）で6ヶ月以上取扱った者。取扱った証明は事業所の代表者が所定の用紙（申請願書に添付）に行う。

年齢制限はない。

丙種……受験資格なし。

2. 試験科目と合格基準

試験科目と出題数並びに合格基準は次のとおり。

乙種第4類

(科目)	(出題数)	(合格基準)
基礎物理・化学	10問	6問以上
危険物各論	10問	6問以上
関係法令	15問	9問以上

丙種

(科目)	(出題数)	(合格基準)
燃焼消火の基礎理論	5問	3問以上
危険物の性質、消火法	10問	6問以上
関係法令	10問	6問以上

3. 科目免除

乙種第4類受験者で、すでに乙種の他の類の免状もっている者に限り科目免除がある。

丙種免状もっている者が乙種を受験する場合は科目免除はない。

なお科目免除をうけたい者は、受験申請時に免状を提示して手続きをすること。受験申請時に手続きしないときは科目免除はされない。

4. 試験の方法

乙種は5択1、丙種は4択1のショートアンサー式により行われ、回答はコンピューター用紙に直接鉛筆で印を記入するようになっているから、係員の指示によく従うこと。

乙種第4類

もぎ問題

1. 基礎物理、化学、燃焼消火理論

問題1. 元素、化合物及び混合物について、次の組合せのうち正しいものはどれか。

(元 素)	(化合物)	(混合物)
(1) 窒 素	食 塩	硫 酸
(2) 水 銀	アンモニア	空 気
(3) ナトリウム	メチルアルコール	蒸 留 水
(4) 硝 酸 銀	水 銀	灯 油
(5) 水 素	ガソリン	でんぷん

問題2. 35°Cのナタネ油240gに6,000カロリーの熱量をあたえると、ナタネ油の温度は何度になるか。ただしナタネ油の比熱は0.5cal/°C・gとする。

- (1) 40°C
- (2) 50°C
- (3) 65°C
- (4) 85°C
- (5) 100°C

あらゆる消防設備・設計・施工

非常扉の自動開錠装置
 防火扉・危険物貯蔵所等の自動閉鎖装置
 泡・ガス・エアーム消火装置

} YMオートアンロック

YM式オートアンロック西日本総括
 斉田式救助袋 近畿地区
 日本ドライケミカル(株)
 ヤマト消火器(株)

} 代理店

株式会社

三 和 商 会

TEL 06 (443) 2 4 5 6

問題3. 次の記述のうち、正しいものはどれか。

- (1) 銅の熱伝導率は、空気より小さい。
- (2) 固体の線膨張率は体膨張率より大きい。
- (3) ガソリンの比熱は、水より大きい。
- (4) 対流現象は、熱のため物質の比重が小さくなったときのみ起る。
- (5) 一般に液体が凝固するときには、その融解熱に等しい熱を放出する。

問題4. 次の記述のうち正しいものはどれか。

- (1) 一酸化炭素は還元されて二酸化炭素になる。
- (2) 酸と塩基を反応させると酸化する。
- (3) PH 値が7より大きい水溶液を酸性という。
- (4) アルコール類に含まれる原子団は水酸基である。
- (5) 氷は酸、ぎ酸は無機化合物である。

問題5. 静電気について、次のうち誤っているのはどれか。

- (1) 静電気が帯電すると電気スパークを発生することがある。
- (2) ベンゾールを攪拌すると静電気が発生する。
- (3) 湿度が高いと静電気が帯電しやすい。
- (4) ガソリンを管送するときは流速を大きくすると帯電量は大きい。
- (5) ベンゾールを取扱う機器は接地した方がよい。

問題6. 引火点について、次のうち正しいものはどれか。

- (1) 引火点が高いものは、着火温度も高いとは限らない。
- (2) 引火点の低いものほど、静電気が発生しやすい。
- (3) 引火点の低いものは、冬期間は引火の危険が少ない。
- (4) 引火点の高いものは、爆発範囲が広い。
- (5) 引火点の高いものから発生する蒸気ほど重い。

問題7. 次の組み合わせのうち、燃焼の起りうるものはどれか。

- (1) いおう酸 素 - 紫外線
- (2) アセチレン - 空 気 - 硝酸カリ

- (3) 静電気 - プロパン - 空 気
- (4) 二酸化炭素 - ライターの火 - 酸 素
- (5) 水 素 - 電気火花 - 酸 素

問題8. アルコール類やアセトンなどの火災に普通の泡消火剤を使用すると、消火効果が少ないといわれるが、その理由として、次のうち正しいものはどれか。

- (1) 水に溶けやすいため、泡が破壊されるから。
- (2) 燃焼速度が大きいため、泡が破壊されるから。
- (3) 燃焼温度が高いため、泡が破壊されるから。
- (4) 揮発性が大きいため、蒸気によって泡が破壊されるから。
- (5) 気化熱が大きいため、熱が奪われて泡が破壊されるから。

問題9. 可燃性液体の危険性について、次のうち正しいものはどれか。

- (1) 一般に引火点の低いものは自然発火しやすい。
- (2) 爆発限界が狭く、かつ、下限の低いものほど危険性が小さい。
- (3) 一般に揮発性の大きいものは、その蒸気は軽く、上方に拡散しやすい。
- (4) 爆発限界外の混合気は引火爆発は起らない。
- (5) 着火温度の低いものほど発火危険性は小さい。

問題10. 消火効果についての組合せで次のうち誤っているものはどれか。

- (1) 強化液の比熱が大きい……………冷 却
- (2) 水の気化熱が大きい……………窒 息
- (3) 二酸化炭素の蒸気密度が大きい……………窒 息
- (4) 四塩化炭素の蒸気密度が大きい……………窒 息
- (5) 炭酸水素ナトリウムが分解して
二酸化炭素を発生する……………窒 息

保安用品と消火装置

総合防火商社



株式
会社

マルナカ

大阪市北区豊島町25 TEL 371-7777(代)

支店 東 京・神 戸

2. 危険物各論

問題11. 各類の共通特性で誤っているものはどれか。

- (1) 第1類、第6類……分子内に酸素を含有する化合物である。
- (2) 第3類、第4類……水と作用すると発熱する。
- (3) 第2類、第5類……可燃性である。
- (4) 第2類、第3類……固体の無機物である。
- (5) 第4類、第5類……有機化合物である。

問題12. 第4類の共通特性で正しいものはどれか。

- (1) 一般に着火温度は常温(20°C)以下である。
- (2) 比重は水より小さい。
- (3) 蒸気密度は1より大きい。(空気=1)
- (4) 一般に引火点の低いものほど危険性が小さい。
- (5) すべて酸素の化合物である。

問題13. 次の組合せのうち、水より軽く、水にとけにくいものの組合せで正しいものはどれか。

- (イ) アセトン (ロ) 二硫化炭素 (ハ) ピリジン
- (ニ) トルオール (ヒ) エチルアルコール
- (フ) ケロシン (ト) ノルマルヘキサン

- (1) (イ)、(ロ)、(ニ)
- (2) (ニ)、(フ)、(ト)
- (3) (ロ)、(ハ)、(ト)
- (4) (ハ)、(ニ)、(フ)
- (5) (イ)、(ヒ)、(ト)

問題14. 第4類危険物に対する消火剤の適応性について次のうち誤っているものはどれか。

- (1) ガソリン、トルオール……二酸化炭素
- (2) アセトン、メチルエチルケトン……アルコ・ホーム
- (3) 灯油、メタノール……フォーマイト
- (4) 軽油、ギャー油……ドライケミカル
- (5) キシロール、重油……エアー・ホーム

問題15. エーテルの性状について、次の記述のうち□で誤っているものはどれか。

エーテルは無色透明の液体で、**A. 沸点35°C**、**B. 引火点 -45°C**、**C. 爆発限界 1.4%~7.8%** と極めて **D. 火災危険性が大きく** その上 **E. 麻酔作用も大きい**

- (1) A (2) B (3) C (4) D (5) E

問題16. 引火点が10°C以下で着火温度が200°C以下の性質を有する危険物は、次のうちどれか。

- (1) 灯油
- (2) ベンゾール
- (3) 二硫化炭素
- (4) メチルアルコール
- (5) ガソリン

問題17. 灯油の性質について、次のうち正しいものはどれか。

- (1) 蒸気密度はガソリンより小さい。
- (2) 揮発性はガソリンより大きい。
- (3) 引火点は常温より低い。
- (4) 着火温度はガソリンよりやや低い。
- (5) 比重は水より大きい。

問題18. 植物油について次のうち誤っているものはどれか。

- (1) 成分は主として高級脂肪酸のグリセリンエステルである。
- (2) 一般に引火点は130°C以下である。
- (3) ヨウ素価130以上のものを乾性油といい、あまに油、きり油等がある。
- (4) 乾性油は一般に自然発火しやすい。
- (5) 水に不溶で、石油ベンジンに溶けやすい。

問題19. 引火点の高、低の順序で正しいものはどれか。(低) ← → (高)

- (1) 灯油 — エタノール — アセトアルデヒド
- (2) エーテル — クロルベンゾール — ガソリン
- (3) トルオール — 二硫化炭素 — エーテル

**消防機器の
トップ・メーカー**

消防自動車から消火器まで

森田ポンプ株式会社

本社 大阪市生野区小路東5-5-20
☎ 06 (751) 1 3 5 1 (大代表)

- (4) アセトン — 軽油 — ベンゾール
 (5) 酸化プロピレン — メタノール — クレオソート油

問題20. 次のうち誤っているものはどれか。

- (1) フーゼル油はアルコール類に属している。
 (2) キシロールには三つの異性体がある。
 (3) アルコール類は炭素数が増加するに従って水溶性は大きくなる。
 (4) 氷さく酸は常温で液状で、引火点は約 40°C、第 2 石油類に該当する。
 (5) さく酸アミルは、さく酸とアミルアルコールが化合したもので、芳香性がある。

3. 危険物関係法令

問題21. 次の記述について正しいものはどれか。

- (1) 危険物の貯蔵取扱いについては、工業地域、準工業地域に限って規制される。
 (2) 甲種危険物の取扱いは甲種取扱者でないとできない。
 (3) 指定数量とは、市町村ごとに定められた数量をいう。
 (4) 灯油は甲種危険物で屋外貯蔵所に貯蔵することができる。
 (5) 危険物は引火性、発火性の高い順位に第 1 類から第 6 類まで分類されている。

問題22. 危険物の規制に関する記述で、次のうち誤っているものはどれか。

- (1) 指定数量未満の危険物でも、その貯蔵取扱いの方法について消防職員より指示されることがある。
 (2) 製造所等でも、指定数量未満の危険物は誰れでも取扱うことができる。
 (3) 指定数量以上の危険物を10日以内に限り仮に貯蔵する場合でも、消防長又は消防署長の承認を必要とす

る。

- (4) 指定数量以上の危険物を航空機や鉄道で運搬するときは、消防法の適用はうけない。
 (5) 指定数量以上の危険物を車両で運搬するときは消火設備が必要である。

問題23. 石油類に関する次の記述のうち、正しいものはどれか。

- (1) 石油類とは、原油、原油分りゅう及び分解製品をいう。
 (2) 原油、灯油、軽油は第 2 石油類に該当する。
 (3) 引火点が 21°C 以上の石油類を第 2 石油類という。
 (4) 第 2 石油類、第 3 石油類、第 4 石油類は乙種危険物である。
 (5) 石油類は、一般に指定数量の大きいほど引火の危険性は小さい。

問題24. 危険物取扱者免状の交付、書換又は再交付の申請に関する説明として正しいものは、次のうちどれか。

- (1) 免状を亡失して再交付を受けた場合、亡失した免状が見つかっても返還を要しない。
 (2) 免状を亡失した場合は、消防長又は消防署長に再交付の申請をすることができる。
 (3) 免状記載事項に変更があった場合は、遅滞なく、居住地又は勤務地を管轄する都道府県知事に書換の申請をしなければならない。
 (4) 免状を汚損した場合は、市町村長を経由して、都道府県知事に再交付の申請をしなければならない。
 (5) 現住所が変わっても免状の書換を申請しなくてよいが勤務先が変わると速かに届出なければならない。

問題25. 次のうち正しいものはどれか。

- (1) 移動タンク貯蔵所は保安監督者を定め、乗車させなければならない。
 (2) 第 2 石油類、第 3 石油類、第 4 石油類は丙種危険物取扱者でも取扱うことができる。



情熱の新発売! ヤマト消火器

ヤマト

エクセル

EXCEL

蓄圧式ABC粉末消火器

- (3) 乙種又は丙種危険物取扱者は定められた期間内に保安に関する業務講習を受けること。甲種取扱者は受けなくてもよい。
- (4) 消防法令に違反したときは危険物取扱者免状の返納を命ぜられることがある。
- (5) 施設保安員は各市町村条例に定める資格をもった者でないとなれない。

問題26. 次の記述のうち、数字が誤っているものはどれか。

- (1) 第1種販売取扱所とは指定数量の10倍以下の危険物を取扱う店舗をいう。
- (2) 危険物は指定数量の10倍が消火設備の1所要単位である。
- (3) 一般取扱所は敷地外の住居から10メートル以上の保安距離をとること。
- (4) 指定数量の10倍未満の製造所には最低第5種消火設備を設けること。
- (5) 指定数量の10倍以上の屋外タンク貯蔵所には避雷設備を設けること。

問題27. 次の表は、各種貯蔵所の保安距離、空地及び最大貯蔵量の制限に関する規制の有無を示したものであるが正しいものはどれか。

	貯蔵所の区分	保安距離 規制の有 無	空地規制 の有無	最大貯蔵 量制限の 有無
(1)	地下タンク貯蔵所	有	なし	有
(2)	屋外タンク貯蔵所	有	なし	有
(3)	屋外貯蔵所	なし	有	なし
(4)	屋内タンク貯蔵所	なし	有	なし
(5)	屋内貯蔵所	有	有	なし

問題28. 200ℓの軽油のドラムかん15本と20ℓ入の灯油の携行かん25本を倉庫に貯蔵している場合、20ℓ入りのガソリンの携行かんをあと何本貯蔵すると指定数量の10倍になるか。次のうち正しいものを選び。

- (1) 5本
(2) 10本
(3) 15本
(4) 20本
(5) 25本

問題29. 危険物の貯蔵、取扱いに関する次の記述のうち誤っているものはどれか。

- (1) 屋外貯蔵所には許可をうけた数量以上の危険物を貯蔵しないこと。
- (2) 屋内貯蔵所では類の別を異にする危険物は同一の室に貯蔵しないこと。

- (3) 屋外タンク貯蔵所の防油堤に雨水が滞ったときは、遅滞なくこれを排出すること。
- (4) ガソリンやベンゾールを移動タンク貯蔵所に注入するときは、移動タンクを接地すること。
- (5) 危険物を廃棄する場合は、埋没するか、水中に投棄すること。

問題30. 次の製造所のうち、第5種消火設備だけ設置してよいものの組合せで正しいものはどれか。

- (イ) 屋内貯蔵所 (ロ) 一般取扱所 (ハ) 簡易タンク貯蔵所 (ニ) 屋内タンク貯蔵所 (ホ) 給油取扱所 (ヘ) 屋外貯蔵所

- (1) (イ) (ヘ)
(2) (ロ) (ヘ)
(3) (ロ) (ホ)
(4) (ハ) (ホ)
(5) (ハ) (ニ)

問題31. 移動タンク貯蔵所によるガソリンの移送及び取扱について、次のうち誤っているものはどれか。

- (1) 甲種か、乙種第4類か、丙種取扱者が同乗すること。
- (2) 長距離にわたり移送するときは、2人以上の運転要員を確保すること。
- (3) 他のタンクへ注入するときは、移動タンクの原動機を注意して使用すること。
- (4) 完成検査済証を備えること。
- (5) 車両の前後には定められた標識を表示すること。

問題32. 暖房用設備に使用する灯油を貯蔵するため容量12,000ℓの屋内貯蔵タンク1基を設置したが、使用量が増加したために同じタンク専用室に灯油の貯蔵タンク1基を増設することになった。次の記述のうち、正しいものはどれか。

- (1) 容量の如何んを問わず同一専用室に2以上のタンクを設置することはできない。
- (2) 既に法令に定める最大数量の限度まで貯蔵しているので、同一専用室にタンクを増設することはできない。
- (3) 増設するタンクの容量が8,000ℓ以下である場合に限り同一専用室に増設することができる。
- (4) 増設するタンクの容量が指定数量の10倍以下である場合に限り同一専用室に増設することができる。
- (5) 専用室を不燃材料で完全に区分し、2室とした場合に限り容量が10,000ℓのタンクを増設することができる。

問題33. 給油取扱所についての記述で、正しいものはどれか。

- (1) 地下専用タンクの容量は指定数量の100倍以下とす

ること。

- (2) 予防規程を作成し、施設保安員を定めること。
- (3) 危険物保安監督者を選任すること。
- (4) 第 4 種と第 5 種の消火設備を設置すること。
- (5) 地下専用タンクに注油中はそのタンクに接続する給油設備の使用は注意して行なうこと。

問題34. 危険物の運搬に関する次の記述のうち、誤っているものはどれか。

- (1) 危険物又は危険物を収納した運搬容器が著しく摩擦又は動揺を起こさないように運搬すること。
- (2) 指定数量以上の危険物を車両で運搬する場合には、当該車両に標識を設けること。
- (3) 指定数量以上の危険物を車両で運搬する場合において、積替、休憩、故障等のため車両を一時停止させるときは、安全な場所を選び、かつ、運搬する危険物の保安に注意すること。
- (4) 指定数量以上の危険物を車両で運搬する場合には、当該危険物に適応する消火設備を備えること。

- (5) 危険物の運搬容器については、特に規制はないが、当該危険物の性質に適した安全なものを使用すること。

問題35. ガソリン 3,000ℓ と灯油 6,000ℓ を貯蔵する屋内貯蔵所の消火設備として最低次のうち正しいものはどれか。

- (1) 小型消火器を能力単位42単位設けること。
- (2) 大型消火器と小型消火器を設けること。
- (3) スプリンクラー設備を設けること。
- (4) 泡を放射する固定式の消火設備を設けること。
- (5) ドレンチャー設備と小型消火器を設けること。

塩素酸塩類の取扱いについて

大阪府警本部より要望

最近東京、大阪で発生した一連の爆破事件に使用されている爆薬の原料に、第 1 類危険物の塩素酸カリウム、塩素酸ナトリウム等の塩素酸塩類及びそれらを主成分とする除草剤が使用されているので、大阪府警では、5 月 1 日、関係事業所を訪問、不審販売、盗難予防の依頼があるので関係各位におかれても全面的な協力をお願いします。

大阪府危険物品協会連合会

会 員 各 位

ご 注 意

最近大阪市内で行われている「国家試験ゼミナール学院」東北事務局(仙台市)主催の危険物取扱者合格指導講習会は、本連合会並びに本協会とは何ら関係ありません。

なお、同学院より案内されている「大阪地区試験、6 月 16 日」には大阪府危険物取扱者試験は行われませんので間違いのないようご注意ください。

大阪府危険物品協会連合会
大阪市危険物品協会

〈もぎ問題の解答〉

- | | | | | |
|--------|--------|--------|--------|--------|
| 1—(2) | 2—(4) | 3—(5) | 4—(4) | 5—(3) |
| 6—(1) | 7—(5) | 8—(1) | 9—(4) | 10—(2) |
| 11—(2) | 12—(3) | 13—(2) | 14—(3) | 15—(3) |
| 16—(3) | 17—(4) | 18—(2) | 19—(5) | 20—(3) |
| 21—(4) | 22—(2) | 23—(5) | 24—(3) | 25—(4) |
| 26—(1) | 27—(5) | 28—(3) | 29—(5) | 30—(4) |
| 31—(3) | 32—(3) | 33—(3) | 34—(5) | 35—(2) |

安全な社会環境づくりに奉仕する

消火器界に一大革命!

バクダ 粉末消火器
《国家検定合格品》

好評発売中です



消火器・消火装置の総合メーカー



株式会社 初田製作所

本社・工場

大阪府枚方市招提田近3-5 丁573
電話 0720-56-1281(代)

大阪営業所
堺出張所

電話 06-473-4821-4
電話 0722-21-3444

危険物取扱者養成講習ご案内

昭和50年度第1回危険物取扱者試験実施に際し、受験者の予備知識向上のため、次のとおり受験準備講習会を開催いたします。

1. 日時・会場

	期別	講習日	時間	会場
乙種 4類	1期	6月5日(木)と14日(土)	午前9時30分～4時	大阪府中小企業文化会館
	2期	6月6日(金)と16日(月)	午前9時30分～4時	大阪府中小企業文化会館
	3期	6月4日(水)と10日(火)	午前9時30分～4時	大阪府商工会館
	4期	6月9日(月)と16日(月)	午前9時30分～4時	大阪府商工会館
	5期	6月9日(月)と12日(木)	午前9時30分～4時	茨木市商工会館
	6期	6月11日(水)と17日(火)	午前9時30分～4時	堺市民会館
	7期	6月12日(木)と19日(木)	午前9時30分～4時	堺市民会館
	8期 (夜)	6月5日(木)と14日(土)と16日(月)	午後5時～9時	大阪府中小企業文化会館
丙種		6月7日(土)	午前10時～4時	大阪府中小企業文化会館

2. 受付期間と場所

受付場所	日	時
岸和田市消防署内 岸和田市火災予防協会	5月23日(金)	午後1時～4時
豊中市消防本部内 豊中危険物防火安全協会	5月23日(金)	午後1時～4時
東大阪市西消防署内 東大阪市西防火協力会	5月26日(月)	午前10時～正午
守口市消防署内 守口門真防火協会	5月26日(月)	午後2時～午後4時
茨木市消防本部内 茨木市災害予防協会	5月27日(火)	午前10時～午後4時
堺市消防署内(阪堺線・大小路駅前) 堺市危険物協会	5月28日(水)	午前10時～午後4時
地下鉄・四ツ橋最北寄出口(四ツ橋ビ ル8階)大阪府危険物品協会連合会事務局	6月2日(月)	午前9時30分～午後4時

3. 申込方法

所定の申込書に会費を添え、次の申込期間申込所で申込み、テキスト、受講票、受験願書用紙を受領のこと。会場及び郵送での申込みは一切受けません。

各講習会場は定員制につき、各申込所にそれぞれ期別定員の割当てをしますから、申込期間中各申込所においても定員に達し次第満員締切りさせていただきます。

4. 会費 (テキスト代を含む)

		会 員	会 員 外
乙 種		2,800円 (3,000円)	3,500円 (3,700円)
	テキスト不要の場合	1,800円 (2,000円)	2,500円 (2,700円)
丙 種		1,500円	2,000円
	テキスト不要の場合	1,000円	1,500円

(注) 上記表中()内金額は8期(夜)の受講料です。